

340人で賑やか 日遊協新年祝賀会

「信頼関係のひとつの形」

庄司会長、日工組加盟で意義強調

日遊協新年祝賀会が1月8日夕、第5回定例理事会、会員報告会に引き続いてグランドアーク半蔵門で開かれた。会員企業、賛助会員企業の役員、社員、さらに業界誌関係者など約340人でにぎわった。

庄司孝輝会長は冒頭、「きょうの理事会では日工組の団体加盟に関連して、定款変更などを審議した。

日工組とは1年半近く、新しい遊技づくりとPRを話し合ってきた仲だ。そういう信頼関係の一つの形として団体加盟が考えられた。3月以降、国会でカジノ法案が論議され、依存問題も課題になる。それだけでなく、ファンの拡大、新しい遊技機といった問題を含めて日工組とは共同歩調がとれる。もちろん、他の団体へも扉は開い

ている。この産業が外から見えて一つに見えるような形を、近々に作っていかないと

ればならない。それは皆様のご協力があるってできる。まずは行動、まずは発信で進めていきたい」とあいさつした。

団体加盟している同友会の松田高志代表理事(日遊協特別参与)が乾杯の発声をして祝賀会が始まり、あちこちに懇談の輪ができた。最後に大久保正博副会長が中締めを行った。



伊豆正則回胴遊商理事長と話し込む庄司孝輝会長



依存問題など社会情況を話し合う吹浦忠正理事(左)と篠原菊紀理事長



あいさつを交わす松田高志特別参与(左)と大泉政治メダル工業会理事長

祝賀会のシメのあいさつをする大久保正博副会長



(左から) 庄司正英相談役、西村拓郎理事、日野文平東京都・関東支部副支部長、日野洋一理事

# 第5回定例理事会

1月8日  
グランドアーク半蔵門  
出席理事・監事・特別参与32人

## 「日遊協が施策を示し加速」

### 庄司会長、課題打開へ決意示す

冒頭、庄司孝輝会長は、「昨年1月にパチンコ・パチスロ産業21世紀会で『宣言2014』を発表し、6団体による活性化委員会ができた。あれから1年経つがスピードが遅い。4団体の代表と話し、代表者が集まる会議を設けて方向性等を決め、活性化委員会に落としこむという意見が出た。いろ

いろ環境の変化があるし、ファン数の減少も止まらないので、スピードを速めて施策を打ち出していきたい。その一環で、日工組と共同歩調をとるため、団体加盟を進めていきたい。依存問題についても、日遊協のPTを中心に約4か月かけて対応ガイドラインができた。業界の施策として取り上げていく。日遊協が進んで施策を示し、やっていかないと事態打開は難しい。皆様のご協力を得ながら決めるべきことを決め、やるべきことをやっていきたい」とあいさつした。

「近年、遊技産業が抱えてきた様々な課題が浮き彫りになり、業界として早急な解決が求められている。とくに最近の傾向としてカジノ法制化、業界への課税問題等について、世論や政治の動向は非常に厳しいものがあるが、現状は各団体が並び立つまま調整に消耗する状態が続き、時宜に応じた方向性を打ち出せないことが少なくない。

日遊協は業界横断的な側面を有し、その特徴を発揮して業界全体の進むべき方向をリードしていくことが求められているが、組織力等において未だ脆弱であり、志を同じくして積極的に共同歩調を取る意思のある団体に団体加盟していただき、その協力を得て組織力を強化し、実行力を高めていくこととしたい。

前回理事会で審議された団体会員規定見直しに伴う定款の改正等に関連して、「日工組との団体加盟の協議を進める趣旨について(案)」と題する文書が提案、承認された。日工組が日遊協に団体加盟する趣旨を文書化したもので、要旨は次の通り。

日工組とは、当面は喫緊の課題である発信・広報活動を重点としつつ、そのベースとなる各種課題についても、共通な認識を持つための協議を進めていくこととしたい」。

### 共同行動の内容協議

この趣旨に則った日工組との具体的な協議内容は、①各種広報イベント活動における共同の取り組み ②ファン拡大のためのプロモーション施策(遊技機)の方向性を含む ③共通認識醸成のための定期連絡会及び各種会合・委員会での交流——となつている。

日工組の団体加盟の前に定款の改正が必要で、最終的に社員総会で決まる。その間、他の関連規程の改正・新設や日工組との細かい調整が行われる。他の団体からの加盟の動きもあるが、当面は日工組を優先し、状況を見ながら考えていく。

### 「依存ガイドライン」承認

遊技産業活性化委員会の審議状況報告の中で、依存問題PT(プロジェクトチーム)が主導して作成した「パチンコ店における依存(のめり込み)問題対応ガイドライン(案)」及び運用マニュアル(案)が報告、承認された。依存問題PTは活性化委員会の依存(のめり込み)問題ワーキンググループを兼務しており、ガイドラインは1月16日の活性化委員会に提案された。ガイドラインの対象はホール経営者、従



◀ 議事進行を務めた庄司孝輝会長



団体会員規定見直しに伴う定款の改正等が審議された第5回定例理事会



会員報告会に266人

カジノノ国会の動き等 篠原専務理事が最新の状況報告

業員で、依存問題に対する啓蒙・啓発などパチンコ店の対応、お客様との向き合い方などについての基本的な取り組み指針を定めている。

また、運用マニュアルはガイドラインの指針に沿ってホール従業員が現場で適正な措置を講じるため、運用上の具体的な取り組みツールおよび留意事項等をまとめている。ツールには自己診断チェック表も付けられている。

関連して、別の検討会（日遊協、自工会、PSA、認証協）で作成中の「自己申告プログラム」についても途中経過が報告された。

新規入会を申請した賛助会員1社の入会を承認した。これで1月8日現在、正会員335社（ホール110、機械68、販売109、景品10、その他38）、賛助会員78社、計413社と団体加盟1（同友会）となった。（25ページに新規入会会員）

会員報告会が1月8日、第5回定例理事会に引き続きグランドアーク半蔵門で開かれ、会員266人が出席した。

冒頭、庄司孝輝会長は業界を取り巻く諸問題に的確、迅速に対応するため、遊技産業活性化委員会のスピードアップが重要と強調し、「6団体代表者会議で決めて活性化委員会におろす形にしたい。団体同士で親密に話せる機会が必要で、その一つの流れとして日工組から日遊協への団体加盟という申し出があり、今日の理事会で定款の変更も含めて審議した。そういうことも踏まえて、去年のカジノ法案を中心とした自民党議連や行政の動き、これからの動きについての専務理事の話聞き、意識を共有してほしい」とあいさつした。

次いで篠原弘志専務理事が、①団体加盟に際し必要な規程改正事項 ②昨秋の臨時国会でのパチンコ・パチスロ産業に関連した様々な動き ③日工組によるECO遊技機の説明内容——の3点について

て報告した。同専務理事はこのうち②の昨秋の臨時国会の関連で、

カジノ法案が国会解散で廃案となるまでの経過、世論の動向、自民党風営法議連や次世代の党などの動き、主にダンス関連の風営法改正案（国会解散により廃案）の内容等を改めて解説した上、カジノ法案は修正した形で、風営法改正案とともにそれぞれ通常国会への再提出が確実と述べた。

支部運営会議

15年活動計画など

支部運営会議が1月8日、グランドアーク半蔵門で第5回定例理事会に先立って開かれた。谷口久徳（東北）、西村拓郎（東京都・関東）、山口悟（中部）、福井章（近畿）、後藤信行（中国・四国）、樋口益次郎（九州）の6支部長と各事務所長等、本部から庄司孝輝会長、篠原弘志専務理事、伊東慎吾常務理事が出席した。6支部の2014年活動状況と15年活動計画等が報告

最近の業界を取り巻く情勢について報告した篠原弘志専務理事



支部事務所長会議

会員増強を検討

支部事務所長会議が1月9日、本部会議室で開かれ、支部会員増強について検討した。

藤井巖・北海道、氣仙浩一・東北、松尾利光・東京都、関東、眞野年之・中部、河村美三・近畿、成光一夫・中国・四国、北島俊和・九州の7事務所長が出席した。



# 21世紀会が「安心娯楽宣言」を発表

## ファンに応える遊技、遊技機、環境

パチンコ・パチスロ産業21世紀会（代表・阿部恭久全日遊連理事長）が1月27日、東京・新橋の第一ホテル東京で、「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」に先立って開かれ、構成する14団体の代表・幹部ら60人が出席、賀詞交歓会で発表する「安心娯楽宣言」（別掲）を採択した。

### 「2項目」を14団体採択

宣言は、「パチンコ・パチスロ産業21世紀会は、パチンコ・パチスロ遊技が身近

で手軽な大衆娯楽であるという原点を確認、共有し、より多くの国民に愛される産業として健全な発展を遂げるため、以下①、②の施策を行う」とし、施策について、①ファンの多様なニーズに応えられる遊技の創設と遊技機の開発推進、新たなファン獲得のための諸活動 ②のめり込み防止対策、置き引き防止などの防犯対策を通じ、お客様が安心できる遊技環境の提供への重点的取組み——の2項目を記している。

### 依存問題に具体策列挙

このうち「のめり込み防止対策」については、

従来から行ってきた「撲滅キャンペーン、折り込みチラシ等への共通標語「パチンコ・パチスロ遊技が身近で手軽な大衆娯楽であるという原点を確認、共有し、より多くの国民に愛される産業として健全な発展を遂げるため、以下①、②の施策を行う」とし、施策について、①ファンの多様なニーズに応えられる遊技の創設と遊技機の開発推進、新たなファン獲得のための諸活動 ②のめり込み防止対策、置き引き防止などの防犯対策を通じ、お客様が安心できる遊技環境の提供への重点的取組み——の2項目を記している。

「置引き防止対策」では、継続的取組事項（店内放送やポスター等での注意喚起、従業員による巡回・声掛け等）に加え、新規にホ

チンコ・パチスロは適度に楽しむ遊びです」の挿入などに加え、新規対応策として、「パチンコ店における依存（のめり込み）問題対応ガイドライン」による従業員教育、ホームページ「安心娯楽宣言」の開設、各団体のホームページでの啓発、手軽に安価で短時間で遊べる遊技の創設と遊技機の開発及び提供、自己申告プログラムの活用、遊技機での注意喚起表示、依存相談に向けた新たな受け皿の設置（RSNへの相談の正しい誘導）——が挙げられている。

### 安心娯楽宣言

パチンコ・パチスロ産業21世紀会は、パチンコ・パチスロ遊技が身近で手軽な大衆娯楽であるという原点を確認、共有し、より多くの国民に愛される産業として健全な発展を遂げるため、以下①、②の施策を行って参ります。

- ①ファンの多様なニーズに応えられる遊技の創設と遊技機の開発推進、新たなファン獲得のための諸活動を実施します。
- ②のめり込み防止対策、置き引き防止などの防犯対策を通じ、お客様が安心できる遊技環境のご提供に重点的に取り組んで参ります。

ールにおける置引き防止対策マニュアルの策定と実践が挙げられた。「使用済み遊技機の適正処理」では、従来からの閤スロ・情報入力サイトの活用に加えて、新規に閤スロ撲滅ポスターの作成、5号機の業界における保有状況の実態調査実施、使用済み遊技機が犯罪に使われないための仕組みづくり——

——が挙げられた。

#### パチンコ・パチスロ産業21世紀会 構成14団体

- 全日本遊技事業協同組合連合会
- 一般社団法人日本遊技関連事業協会
- 日本遊技機工業組合
- 日本電動式遊技機工業協同組合
- 全国遊技機商業協同組合連合会
- 回胴式遊技機商業協同組合
- 一般社団法人遊技場自動サービス機工業会
- 遊技場自動補給装置工業組合
- 遊技場メダル自動補給装置工業会
- 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会
- 一般社団法人余暇環境整備推進協議会
- 一般社団法人パチンコ・チェンストア協会
- 一般社団法人プリバードシステム協会
- 一般社団法人電子認証システム協議会



篠原菊紀日遊協理事(右)と話し込む庄司孝輝会長



勢ぞろいした14団体のトップたち。左からPSA・小堀豊理事長、認証協・広瀬清代表理事、PCSA・金本朝樹代表理事、余暇進・笠井聰夫代表理事、同友会・松田高志代表理事、メタル工業会・大泉政治理事長、補給組合・梁川誠市理事長、自工会・古宮重雄理事長、回胴遊商・伊豆正則理事長、全商協・中村昌勇会長、日電協・里見治理事長、日工組・金沢全求理事長、日遊協・庄司孝輝会長、全日遊連・阿部恭久理事長

## 500人が集う 14団体が賀詞交歓会 「依存対策は重要な活動」庄司会長

### 阿部理事長「国民目線を業界全体で」

パチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する14団体は1月27日、東京・新橋の第一ホテル東京で「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」を開いた。出席したのは14団体の役員・幹部をはじめ、来賓の警察庁及び一般社団法人遊技産業健全化推進機構など5団体の関係者、さらに報道関係者を含めて会場は約500人でにぎわった。業界団体合同の賀詞交歓会は08年から行われ、今回が8回目。

14団体を代表して阿部恭久全日遊連理事長、金沢全求日工組理事長、里見治日電協理事長の3氏が挨拶した。阿部氏は、「今こそ根本的に娯楽としての在り方を見直す時だ。今までの業界目線を改め、一般的な国民の目線でこの業界を見て改善していかなければならない。ホールだけが努力しても、メーカーだけが努力してもだめだ。業界全体でまとまって取り組まなければ意味はない」と、現在の団体間の協調を続けるよう訴えた。

21世紀会が今年重点的に推進していく取り組み、「安心娯楽宣言」を阿部理事長が代表して読み上げた。小柳保安課長が挨拶

### 「健全化へ業界が一体に」

来賓の警察庁、小柳誠二保安課長が、「風営法の趣旨に思いを致し、安く安心して遊技を楽しめる環境の整備をして、パチンコが健全な娯楽になるための取り組みを業界一体となって推進されることを期待する」とあいさつした。

最後に、庄司孝輝日遊協会長が「気軽に短時間で適度な料金で遊べる遊技を目指したい。その上で依存問題対策はこの業の将来像のための重要な活動だ。一般社会にパチンコ・パチスロは変わったと認識されるような活動によっても業の活性化を図っていきたい」と述べて乾杯の発声をし、歓談が始まった。

その他の来賓は次の通り。  
警察庁保安課課長補佐、大門雅弘氏▽



伊豆正則回胴遊商理事長(右)と談笑する警察庁の小柳誠二保安課長



仲良く写真に収まる(左から)警察庁の大門雅弘課長補佐、大久保正博日遊協副会長、健全化推進機構の伏見勝専務理事



阿部恭久全日遊連理事長(左)、金本正浩同機械対策委員長(中)と庄司会長(右)

一般社団法人遊技産業健全化推進機構専務理事、伏見勝氏▽一般財団法人保安通信協会常務理事、柳澤昊氏▽特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク代表理事、西村直之氏▽遊技機運送事業協同組合理事長、栗原真氏▽同理事、後藤達人氏